

児童発達支援保護者からの事業所評価表の集計結果（公表）

（事業所評価実施日）：令和4年1月11日～令和4年2月4日 （公表）：令和4年3月31日

事業所名：児童発達支援センタースイスイなかま 保護者等数（児童数） 51名 回収数： 26名 割合： 50.9%

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	未記入	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	18	5	1	2	0	・限られた空間に活動に合わせたスペースがある ・利用者が複数人になると少しスペースが混雑する場合もあった ・少し狭い	親子療育もあって十分な活動スペースの確保ができず申し訳ありません。限られたスペースの中で構造化しわかりやすい導線の工夫を検討して参ります。各エリアも状況に合わせて配置工夫して参ります。各専門機関の助言もいただきながら工夫し、改善することができるかを常に考えて取り組んで参ります。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	23	1	0	2	0	・1人の先生だけでなく数人の先生がいることで、また違った点から意見がもらえる	収支状況にもよりますが、充実した支援の提供が出来る様、適切な職員の配置をおこなって参ります。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境*1になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	17	7	0	2	0	・以前よりも活動に合わせた空間づくりがされている（本読みスペースなど） ・バリアフリーについては、段差は所々にあるように感じる ・場所を覚えたら問題ない（バリアフリーとは言えない事から）	建物が古いこと、賃貸の物件であることからバリアフリー化をおこなっていくには困難な部分があります。ただ、特性に応じた出来そうな配慮点は意識して考えて参ります。児童の方へ伝わりやすい方法、理解しやすい方法を検証して参ります。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	23	1	2	0	0	・ただ冬はとても寒いので少しだけ改善して欲しい ・トイレは改善して欲しい ・コロナのことがなければ大丈夫（色々な物を使うので時々気になる）	・建物が古いことから大変ご迷惑をお掛けしております。可能な各種機器を活用して適正な温度管理等に努めて参ります。
適切な支援の提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画*2が作成されているか	23	0	0	3	0		相談支援事業所を交えた担当者会議で保育園等の連携を図り、情報共有をおこないながら、各職種全職員での意見を支援計画に繁栄させて参ります。
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	23	0	0	3	0		保育所等訪問のみでの地域支援となっていますので、更なる専門的知識向上に努め地域支援を感じていただけるよう支援を図って参ります。
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	26	0	0	0	0		保護者ニーズ確認をおこない、またお子様の現状を確認しながら、納得していただけるような個別支援計画の作成に取り組んで参ります。
	8 活動プログラム*3が固定化しないよう工夫されているか	24	0	0	2	0		個々の発達状況に合わせた活動のプログラム、興味関心をもった課題への取り組みができるように活動終了後の全職員でカンファレンスで検討をおこなって参ります。
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	11	3	0	12	0	・通常は保育園へ通っているので問題ないです ・コロナがなければ大丈夫	他の集団（保育園等）に所属されているお子様がほとんどです。その為、あえて他集団との交流おこなっておりません。
10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	26	0	0	0	0		契約時に説明しております。	

保護者への説明等	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	25	0	0	1	0		個別支援計画は保護者の方の意見を伺いながら作成いたします。
	12	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング*4等）が行われているか	22	0	1	3	0	・個定された1人で体験してみたが、大人みんなが家庭支援のプログラムに参加できればよいと思う	令和3年度から取り組みをおこないました。コロナ過のため日程調整で保護者の方へは大変ご迷惑をお掛けしております。
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	22	3	1	0	0	・親自身が精神的な余裕がなく、どこから話せばいいのかわからない状況なので、伝え合うのが難しい	・保護者の方へその日の療育記録表を通し療育への課題等について理解を深めていただけるように、細かく今日の支援ポイントなど記入しております。定期的に保護者の方へ実施取り組み内容に対する疑問がないかお尋ねして参ります。不明なところは遠慮なくお尋ねください。
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	20	4	0	2	0		・営業時間内での電話相談など受けております。その都度気になったことの相談を受け賜ります。担当職員での回答が難しい時は、児童発達支援管理責任者と職員で内容の協議を図り助言しております。専門的な機関等との連携も図り助言をおこなって参ります。
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	4	5	2	14	1	・コロナ過の為、難しいと思う ・もしあれば参加したいです	週1回の療育であること、小グループ集団での療育であることから父母の会や保護者会同士の連携に至っておりません。今後、保護者間の交流が図れるような企画立案を職員間で協議検討して参ります。
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	24	1	0	1	0	・相談すると園にも伝達していただき、連携ができています	保護者様からの相談、申し入れに対して関わる職員全員で丁寧な対応に努めて参ります。しかし、内容により、他の機関等の連携を図り助言をおこなって参ります。困難な事例の場合には、他の期間を活用し協議検討をおこないますので迅速な対応ができない場合もございます。
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	24	1	0	1	0		保護者の気持ちに寄り添った支援を心がけ、相談しやすい環境に取り組んで参ります。
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	23	0	0	3	0		今後も正確な情報発信に努めて参ります。わかりやすい充実した内容のお便りの作成に心掛けて参ります。情報のツールとしてLINEの活用をおこなって参ります。
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	20	1	0	5	0		引き続き、個人情報取り扱い注意の周知を図って参ります。
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	19	3	0	4	0	・コロナ対策は十分にしております ・防犯マニュアルはまだ、したことがないので災害とは違った訓練として、してもらってもいいかと思う ・訓練はあったがマニュアルがどの部分なのかわからない	各種マニュアルについては、事業所内の一角に設置しわかりやすい周知を図って参ります。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	23	0	0	3	0	・避難訓練など療育でも行われ、いつでも起きてもおかしくないのが療育の一環として行ってもらい助かる ・年に1回だけでなく何回かしても良いと思う	年2回の定期的な防火訓練等の実施をおこないません。多機能型事業所ということで児童発達支援、放課後等デイそれぞれ1回の実施をおこなっています。すべての利用児童を対象とした訓練の実施は難しい状況です。

満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	26	0	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・保育園とは違った環境でまた楽しく通えている ・毎回楽しみにしています 	更に全てのお子様を楽しみながら自信をもって過ごせるように努力して参ります。
	23	事業所の支援に満足しているか	23	2	0	1	0	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもに合わせた支援、アドバイスをくれる ・一番の悩みだった「言葉」が増えました ・いつもありがとうございます 	全ての方に満足をいただけるよう、日々努力して参ります。

*1 「本人にわかりやすく構造化された環境」は、この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。

*2 「児童発達支援」は、児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者

*3 「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障害の特性や課題等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

*4 「ペアレント・トレーニング」は、保護者が子どもの行動を観察して障害の特性を理解したり、障害の特性を踏まえた褒め方等を学ぶことにより、子どもが適切な行動を獲得することを目標とします。

26

26

26

26

26

26

26

26

26

26

26

26

26

26

26

26

26

26

26

26

26

26

26